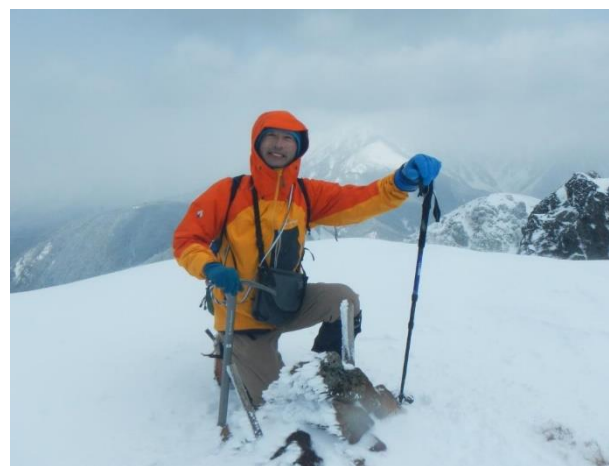


北アルプス：焼岳

- ◆日程 2021年5月3日(月)
 ◆メンバー L: OT
 ◆天候 曇時々晴

春合宿の奥穂高岳アタックは悪天候により取りやめ、一日早い5月2日に上高地へ下山となった。翌5月3日は晴予報なので帰宅するのは惜しい。そこで、腹案としていた焼岳南峰計画を実行することにした。

小梨平で幕営し、アタック装備以外を荷物預かり所に残して7時のバスで中の湯へ。ここから安房峠に続くロードを1時間歩いてようやく登山口だ。雪の焼岳にはここから南峰に登るのが一般的とされる。駐車場は既に満車だ。先行者が昨日までの雪にトレースを付けてくれているだろう。標高1750m付近でルートが雪で覆われ始めた。暫く急登が続くため、アイゼンを装着。速度と息が上がる。気が付くと傾斜が緩い雪の樹林帯を歩くメルヘン街道。下山者によれば、山頂付近は風が強く寒いとのこと。程なく尾根の脇にある広場に到着。この先は樹林を抜けて吹き曝しの急登となる。エネルギー補給と防寒着着用を済ませ、いよいよ最後の登り。再び尾根に乗るまでは、先行者がいる雪の斜面を登った。ラッセルと藪漕ぎを避けられるが、本来は広場を経由せずに尾



根筋に忠実に歩く方が雪崩の危険を避けられる。今後は先行者の有無にかかわらずそうすべきと反省。斜面を急いで登り切って尾根に復帰。ここからは少し藪漕ぎをして山頂直下の岩稜に取付く。強風に曝されているが溶岩にしっかりと締まった雪が付いており、安定して進める。平坦地に躍り出るとそこは山頂。360度の展望台と称されるが灰色の空の中、噴煙を上げる北峰から連なる西穂高の他、霞沢、乗鞍、笠ヶ岳がかろうじて見えるのみ。自分が立つ火口壁は雪庇状なので自由には歩き回れない。堪能し、下山開始。釜トンネル前の中の湯バス停でバスを待つ間に売店でバッチをゲット。上高地に到着すると新島々行きのバスが8分後。荷物を受け取って飛び乗り、帰途に就いた。空いているためやけに乗り継ぎが良い。慌ただしくも満足の日だった。(記: OT)

CT: 中の湯 7:15 - 新中の湯ルート登山口 8:15 - 1750m地点 8:45/8:55
 - 広場 9:40/10:00 - 焼岳南峰山頂 11:15/11:30 - 広場 12:00/12:15
 - 1750m地点 12:45/12:55 - 新中の湯ルート登山口 13:15 - 中の湯 14:05